

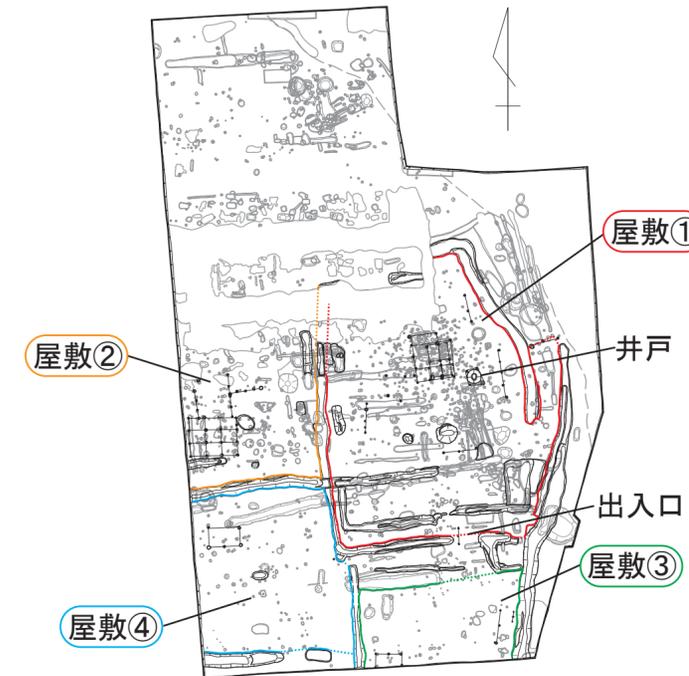
# きた がた きょう ずい い せき 北方京水遺跡

## おお がき し きた がた ちょう 大垣市北方町



発掘区全景

北方京水遺跡は、標高9mほどの沖積平野に立地します。古代や中世においては、周辺には河川が流れており、人々は旧中州を居住域として利用していました。今回はこの旧中州にあたる部分を調査し、古代から中世の掘立柱建物や井戸などを確認することができました。特に室町時代には溝で区画された屋敷が展開していたことが明らかになりました。



中世後期の屋敷

今回の発掘区では室町時代に展開した4つの屋敷を確認することができました。全ての屋敷に掘立柱建物があり、屋敷①では覆屋を持つ井戸も見つかりました。また、屋敷の南側には溝が途切れる部分があり出入口になっていたようです。



出土遺物（室町時代）

屋敷内からは、土師器皿や香炉、燭台、播鉢等、室町時代にそこに住んでいた人々が使っていたと思われる遺物が出土しました。茶の湯で湯を沸かすための風炉といった特殊な遺物も出土しており、ある程度の権力を持った人が生活していたようです。

今から約 13000 年前	約 5000 年前	約 2300 年前	約 1700 年前	約 1400 年前	約 1200 年前	約 800 年前	約 400 年前	約 150 年前
旧石器	縄文	弥生	古墳	古代	中世	近世	近代	
中 後	草 早 前 中 後 晩	前 中 後	前 中 後	飛鳥	奈良	平安	鎌倉 南北朝 室町 室町	江戸 明治